

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境			0.35					3.3
1 音環境		3.0	0.15	-	-	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2 温熱環境		3.3	0.35	-	-	-	-	3.3
2.1 室温制御		3.6	0.50	-	-	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能	窓: 複層ガラスU=2.9 外壁: U1.00 現場発泡ウレタン	4.0	0.25	3.0	-	-	-	
4 ゾーン別制御性	天井カセット形パッケージエアコンを採用	4.0	0.38	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	-	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	-	-	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-	-	-	
1 昼光率	昼光率: 2.5%以上	5.0	0.60	3.0	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-	-	-	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	規制対象外の材料、及びF の材料のみ使用	4.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.5	0.20	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視	手動による計測と管理マニュアルを整備(予定)	4.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.7
1 機能性		4.0	0.40	-	-	-	-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー、リフレッシュコーナー、自販機の設置	5.0	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画	エコ建材、内装に合わせた色温度照明計画、パースによる検討等	5.0	0.33	-	-	-	-	
1.3 維持管理		5.0	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上、親水性塗料、水切り、外部金属メッキ処理等	5.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	トイレごとのSK、清掃用倉庫控室、洗濯室バルコニー、ゴミ集積場等	5.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-	-	-	3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性	基準法の地震力1.25割増	4.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	系統分、空調のガス・電気併用、	3.6	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	非常用発電機設置、サーバーに無停電装置、地下の利用なし	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		5.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高3.9m以上	4.6	0.31	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁比率0.1以上	5.0	0.60	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.40	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	天井なし 配管・ダクト露出	3.6	0.38	-	-	
	2	給排水管の更新性		4.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	天井なし 配管配線露出	3.0	0.17	-	-	
	4	通信配線の更新性		5.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	受水槽地上設置、キュービクル屋上設置（クレーンにて搬出入）	3.0	0.11	-	-	
	6	バックアップスペース	設備スペースのゆとり	3.0	0.22	-	-	
4.0			4.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.35	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出				4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮				4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.3
1 建物の熱負荷抑制				PAL値227.3(事務所基準値300)	4.4	0.16	-	4.4
2 自然エネルギー利用					4.0	0.24	-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				トップライト、ハイサイドライト	4.0	0.50	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				太陽光発電10kw	4.0	0.50	-	
3 設備システムの高効率化					4.7	0.36	-	4.7
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)				ERR=30.3%	4.7	-	-	
集合住宅の評価					-	-	-	
4 効率的運用					4.0	0.24	-	4.0
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制				運用・維持・保全の基本計画、年間消費エネルギーの目標値の設定	5.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護					3.4	0.15	-	3.4
1.1 節水				節水型フラッシュバルブ大便器の採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.9	0.63	-	3.9
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.07	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.25	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.21	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				再生木デッキ、長尺塩ビシート、OAフロア、ロックウール吸音板	5.0	0.21	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み				乾式の仕上げ、再利用可能屋上緑化ユニット	5.0	0.25	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.22	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68	-	
1 消火剤					-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮					3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮					3.2	0.33	-	3.2
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					4.0	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制				駐車場・駐輪場(条例設置)荷解きスペース	5.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				ゴミの推計、分別ボックス、ゴミ集積場設置、鉄くず定期回収	5.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	
1 騒音					3.0	0.33	-	
2 振動					3.0	0.33	-	
3 悪臭					3.0	0.33	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制					3.0	0.40	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	